

<百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ>

①	<p>DPTワクチンについて、乳幼児期に第1期（3回+追加）を接種し、第2期が未接種のまま15歳を超えてしまいました。対象年齢を過ぎていますが、接種は必要でしょうか？</p>
	<p>→一般的にワクチンによって得られる免疫効果は10年程度持続するとされています。したがって効果が低下する時期に、任意接種で追加接種を行うことは推奨されています。またワクチンですが、DTワクチンではなくDPTワクチンの接種をお勧めします。DPTワクチンは需要が少なく取り扱いが少ない場合があるので、事前に接種を受ける医療機関に相談されることをお勧めします。</p>
②	<p>破傷風ワクチンについて、汚染物取扱い業務に就く職員の外傷時の発症予防として接種を受けさせたいと考えますが、効果は期待できますか？</p>
	<p>→破傷風は自然感染により免疫を獲得することはないため、感染リスクのある人は任意接種として受けておくことが勧められます。基礎免疫が済んでいる場合には、多くは1回の追加接種でよく、その後は約10年毎の追加接種で発症予防水準の抗体価を維持することができます。</p> <p>※幼少期の定期接種（基礎免疫）ができていない場合には、個別に予防接種相談センターにご相談ください。</p>
③	<p>DTワクチンについて、過去に犬に噛まれた際に破傷風の接種を受けています。DTワクチンの接種はどれくらい間隔をあけるとよいですか？</p>
	<p>→別のワクチンと考えますので間隔の規定はありません。ただし、接種回数を重ねることにより、局所の強い発赤、腫脹、疼痛等の副反応の出現に注意が必要です。</p>
④	<p>ポリオについて、接種歴が不明ですが、抗体価を調べることはできますか？</p>
	<p>→以前は可能でしたが、世界保健機構(WHO)により世界ポリオ根絶計画が策定され、我が国でもポリオ根絶に向けた取り組みの一環としてポリオウイルスの保持が困難となりました。それに伴い2019年3月末をもって、検査試薬の販売が中止され、以降は検査ができなくなりました。</p>
⑤	<p>DTワクチン2期対象者で、DPTの接種歴が2回のみ。DPTの接種を考慮したほうが良いですか？</p>
	<p>→2回では効果はほぼないため、DPTで3回接種をお勧めします（任意）。1か月間隔で2回、1年後に3回目とします。DTはなくてもよいです。</p>